

第 12 回 再生普及推進のための連携チーム会合

日時: 令和 3 年 1 月 27 日(水) 14:00～15:30

場所: オンラインでの開催

----- 議 事 -----

1. 小委員会事務局が実施する市民参加の取組みの実施状況について
2. 湿原の保全や再生に係る情報発信の拡充について
3. その他(各小委員会からの提案・連絡事項)

----- 配布資料一覧 -----

- | | |
|--------|---------------------------|
| 資料 1-1 | 小委員会事務局が実施する市民参加の取組みの実施状況 |
| 資料 1-2 | 参加者アンケート集計結果 |
| 資料 2 | 湿原の保全や再生に係る情報発信の拡充について |

第 12 回 再生普及推進のための連携チーム会合出席者名簿(敬称略)

< 専門家 >

所属等	氏 名
再生普及小委員会副委員長	新庄 久志

< 小委員会事務局 >

機関名 [担当小委員会]	出席者
国土交通省北海道開発局 釧路開発建設部 治水課 [湿原再生、河川環境再生、水循環、土砂流入、地域づくり]	治水専門官 金谷 将志
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所 [湿原再生、森林再生、地域づくり]	自然再生企画官 瀬 川 涼
林野庁北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター [森林再生]	所長 川 渕 義昭
北海道釧路総合振興局 釧路建設管理部 事業室治水課 [土砂流入]	主査 (河川) 松 本 正巳

< 事務局 >

機 関 名	出席者
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所 [再生普及]	自然保護官 瀧口 さやか
公益財団法人北海道環境財団 (再生普及行動計画オフィス)	環境教育課長 山 本 泰志 環境教育課 安 田 智子

釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会 再生普及推進のための連携チーム名簿(敬称略)

令和3年1月27日現在

<専門家>

高橋 忠一 (再生普及小委員会 委員長)

新庄 久志 (再生普及小委員会 副委員長)

<協議会事務局>

国土交通省北海道開発局 釧路開発建設部

[湿原再生、河川環境再生、水循環、土砂流入、地域づくり]

環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所

[湿原再生、森林再生、再生普及、地域づくり]

林野庁北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター [森林再生]

北海道釧路総合振興局 釧路建設管理部 [土砂流入]

北海道釧路総合振興局 産業振興部 [地域づくり]

北海道釧路総合振興局 保健環境部

さっぽろ自然調査館

<その他>

※ 委員長の判断により必要に応じて関係者に出席を要請する。

小委員会事務局が実施する市民参加の取組みの実施状況

令和 3 年 1 月 27 日
再生普及行動計画オフィス

8 月から 10 月の期間中、自然再生協議会各小委員会が実施した市民参加の取組みは以下のとおり。

開催日	イベント名	主催
8 月 30 日 (日) 8 : 30 ~ 14 : 30	カヌー de ヒシ刈り！ in 達古武湖	環境省釧路自然環境事務所
9 月 5 日 (土) 8 : 00 ~ 15 : 30	茅沼地区旧川復元現地見学会 みんなで調べる復元河川の環境・2020	河川環境再生小委員会事務局 (釧路開発建設部治水課) 釧路国際ウェットランドセンター
9 月 12 日 (土) 9 月 27 日 (日) 10 月 3 日 (土)	釧路湿原ラムサール条約登録 40 周年記念 市民講座 地域の宝は地球の宝！釧路湿原の「すごい！」を体験しよう 【第 1 回】変わる「すごい！」の評価軸 【第 2 回】湿原フィールド訪問 【第 3 回】これからの湿原と私たち	再生普及小委員会事務局 (環境省釧路自然環境事務所)
9 月 13 日 (日) 8 : 30 ~ 12 : 40	「幌呂地区湿原再生」現地見学会	湿原再生小委員会事務局 (釧路開発建設部治水課)
10 月 9 日 (金) 10 : 00 ~ 15 : 30	久著呂川自然再生の見学ツアー	土砂流入小委員会事務局 (北海道釧路建設管理部治水課)

現地見学会実施報告書

日時：令和2年8月30日（日）8：30～14：30
場所：達古武オートキャンプ場
行事名：カヌーdeヒシ刈り in 達古武湖
主催者：環境省釧路自然環境事務所
参加者人数：16名（10代から50代）、ボランティア3名
取組の概要 カヌーに乗って、自然再生事業によって再生した水草の観察を観察したり、実際に「ヒシ刈り」を行い自然再生への協力作業を行った。今年度はコロナ対策を講じた開催を検討した結果、募集人数を半分にして1班体制とし、自己紹介を事前に記入したプロフィールシートを司会が紹介する形とし、声を出したり触れあうことが少ないプログラム（行事で見られる動植物について絵を描く連想クイズ）を実施した。参加者はリピーターのほか、自然再生に関心を持つ大学生の参加も見られた。 
主催者の感想 雨天の中での開催となったが、参加者は高い意欲を持ってヒシ刈り作業を行い、行事の満足度も高かった。最初に刈り取った箇所を見学することでヒシ刈りの効果を実感でき、連想クイズで楽しみながら解説を行い、取組の必要性を落とし込めたことが満足度向上につながったと思われる。 今後も自然再生行事に参加したい、来年はボランティアとしても参加したいという意見が多くみられた。今後も地元自治体やボランティアスタッフと連携を図り、継続して開催できる体制づくりを進めたい。

現地見学会実施報告書

日時：令和2年9月5日（土） 8：00～15：30
場所：標茶町茅沼地区
行事名：釧路湿原ラムサール条約 40 周年記念 みんなで調べる復元河川の環境・2020（茅沼地区旧川復元現地見学会）
主催者：釧路国際ウェットランドセンター・釧路開発建設部 釧路湿原自然再生協議会（河川環境再生小委員会・再生普及小委員会）
参加者人数：24名
取組の概要 自然再生事業を広く一般市民に理解してもらうため、「茅沼地区旧川復元現地見学会」を釧路国際ウェットランドセンターと釧路開発建設部とで共同開催しました。6班に分かれてカヌーとEボートで釧路川の五十石橋下流から下り、河岸の植生や河畔の景観などについて観察・記録しました。茅沼の直線河道と復元河道を下りながらその河川環境の変化を体感しながら、旧川復元事業に関する説明を行いました。その後、復元河道の下端部付近で下船し、堆積土壌調査と水生生物調査を行ってから、この日に調査した結果を振り返りました。 ※Eボートとは、10人乗りの大きなゴム製カヌーで、誰でも(everybody)簡単に(easy)楽しめる(enjoy)水辺の交流ツールです。
   
主催者の感想 今回で3回目の共同開催となりました。風もなく天候にも恵まれ、穏やかなで雄大な釧路川を堪能することができたと感じています。 アンケートでは、「大自然のなかでの体験に感動。」「個人や民間業者の案内では得られない学術的な話がきけた」など多くのコメントがありました。旧川復元事業など釧路湿原で行われている自然再生事業がもっと興味を持ってもらえるように、見学会を継続していきたいと考えております。

現地見学会実施報告書

日時：令和2年9月13日（日） 8：30～12：40
場所：幌呂地区湿原再生区域（鶴居村 下幌呂）
行事名：幌呂地区湿原再生現地見学会
主催者：湿原再生小委員会事務局（釧路開発建設部治水課）
参加者人数：16名
取組の概要 自然再生事業を広く一般住民に理解していただくため、未利用地を湿原に再生している「幌呂地区湿原再生」事業箇所において、事業実施後の湿原植生の回復状況を見て頂くと共に、湿原を代表する植物であるヨシの移植体験、ハンノキを衰退させるための試験としてハンノキ環状剥皮（巻き枯らし）の体験を行いました。  ヨシの移植作業は初めに移植するヨシを根から掘り起こしまし  ぬかるみのある泥炭に穴を掘り採取したヨシを移植まし  増殖したハンノキを、容易に枯死させるため、樹皮を環状に剥ぎまし
主催者の感想 今年で8回目の開催となり、新型コロナウイルス感染予防対策のため昨年より少ない人数の16名の方に参加していただきました。アンケートでは、「湿原の再生に手助けが出来た」「ヨシを植えたことが自然再生につながった気がしてうれしい」など湿原と直に向き合えた感想が添えられ、釧路湿原の保全に関心があることを実感いたしました。これからも、釧路湿原の再生に向けて、この見学会を引き続き開催したいと考えております。

現地見学会実施報告書

日時：令和2年10月9日（金）10：00～15：30

場所：久著呂川の土砂流入対策箇所等（鶴居村・標茶町）

行事名：第7回久著呂川自然再生の見学ツアー

主催者：土砂流入小委員会事務局（北海道釧路建設管理部治水課）

参加者人数：7名

取組の概要

久著呂川の上流、中流、下流を巡り、釧路湿原への土砂流入対策の現状や効果、河川環境の回復状況について、モニタリング体験するツアーです。

上流域では、川の流れ、生息する動植物を観察しながら特徴を学び、中流域では、対策前後の河川環境を比較し、自然の回復状況を確認しました。下流域では、河川沿いの土砂調整地で土砂の堆積状況や湿原流入部土砂調整地の人工ケルミの状況を見学した後、流域全体の土砂対策効果の説明を聞きました。



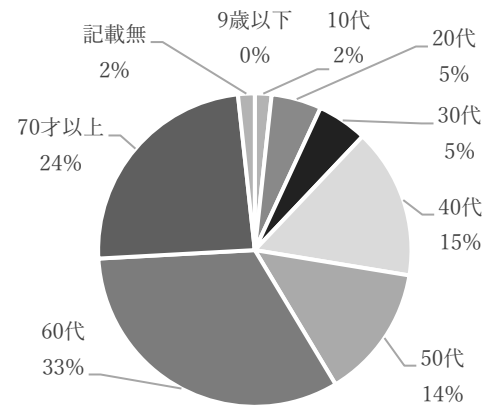
主催者の感想

今回の見学会では、新型コロナへの感染防止に配慮し、参加人数の制限、ソーシャルディスタンスを確保した中での開催となりました。各施策を実施している箇所の見学や、胴長を履いて生息する魚類を観察したり、流速を計測するなどのモニタリング体験を通じ、久著呂川の土砂流入対策を実施したことによる効果について理解を深めていただけたと感じています。

参加者アンケート集計結果 (回収総数：58 件)

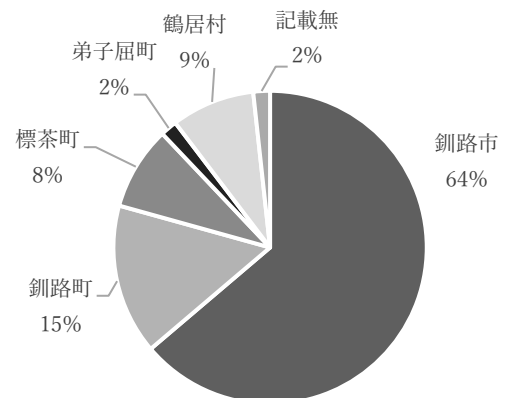
1 年齢

	達古武 ヒシ刈り	茅沼 見学会	幌呂 見学会	久著呂 見学会	市民 講座	計
9 歳以下	0	0	0	0	0	0
10 代	1	0	0	0	0	1
20 代	1	0	0	2	0	3
30 代	2	0	0	0	1	3
40 代	1	0	1	2	5	9
50 代	3	0	0	1	4	8
60 代	7	4	6	1	1	19
70 才以上	3	4	7	0	0	14
記載無	0	0	0	1	0	1



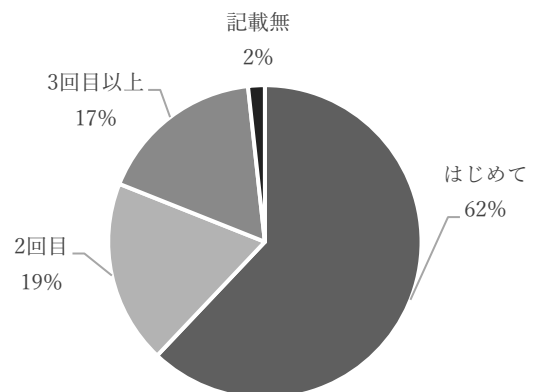
2 居住地

	達古武 ヒシ刈り	茅沼 見学会	幌呂 見学会	久著呂 見学会	市民 講座	計
釧路市	9	6	11	3	8	37
釧路町	9	0	0	0	0	9
標茶町	0	0	1	2	2	5
弟子屈町	0	0	1	0	0	1
鶴居村	0	2	1	1	1	5
記載無	0	0	0	1	0	1



3 このイベントへの参加回数

	達古武 ヒシ刈り	茅沼 見学会	幌呂 見学会	久著呂 見学会	市民 講座	計
はじめて	15	1	4	5	11	36
2 回目	1	6	3	1	0	11
3 回目以上	2	1	7	0	0	10
記載無	0	0	0	1	0	1



※本資料においては、行事名称を以下のように略称で記載。

達古武ヒシ刈り：カヌーde ヒシ刈り！in 達古武湖

茅沼見学会：茅沼地区旧川復元現地見学会

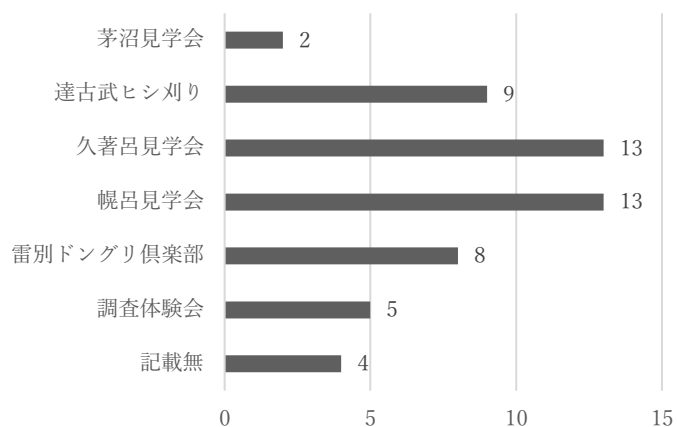
幌呂見学会：幌呂地区湿原再生現地見学会

久著呂見学会：久著呂川自然再生の見学ツアー

市民講座：地域の宝は地球の宝！釧路湿原の「すごい！」を体験しよう

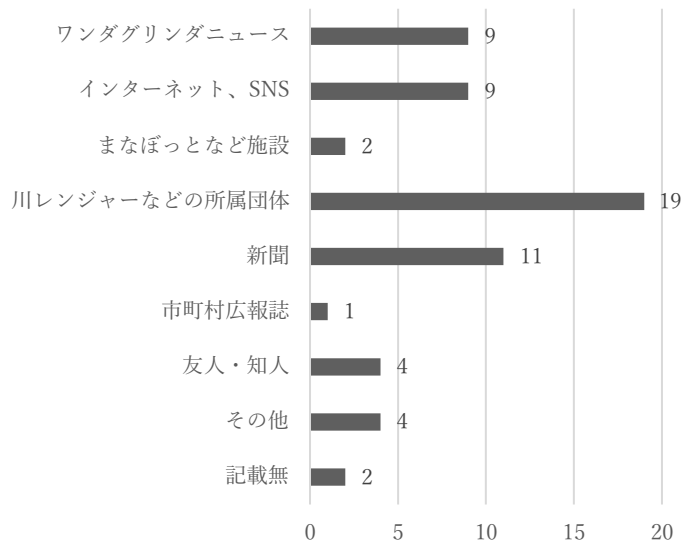
4 これまでに参加したことのある自然再生協議会主催行事（複数回答）

	達古武 ヒシ刈り	茅沼 見学会	幌呂 見学会	久著呂 見学会	市民 講座	計
茅沼 見学会	0	0	0	2	0	2
達古武 ヒシ刈り	0	1	4	2	2	9
久著呂 見学会	0	4	9	0	0	13
幌呂 見学会	0	2	9	2	0	13
雷別ドン グリ倶楽部	0	3	4	1	0	8
調査体験 会	0	2	3	0	0	5
記載無	0	1	2	1	0	4



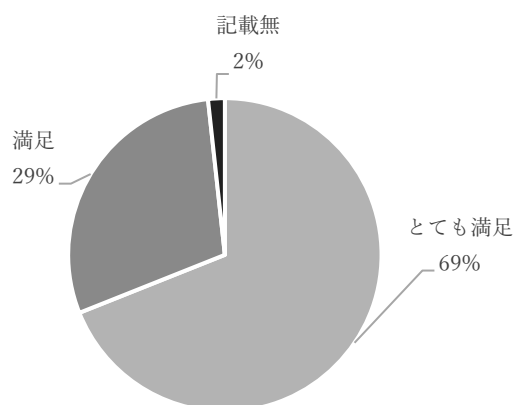
5 この行事をどのようにして知ったか（複数回答）

	達古武 ヒシ刈り	茅沼 見学会	幌呂 見学会	久著呂 見学会	市民 講座	計
ワンダグリン ダニュース	0	2	4	2	1	9
インターネッ ト、SNS	6	0	0	1	2	9
まなぼつとな ど施設	2	0	0	0	0	2
川レンジャー などの所属 団体	0	7	10	2	0	19
新聞	4	0	1	0	6	11
市町村 広報誌	0	0	0	1	0	1
友人・知人	2	0	1	0	1	4
その他	4	0	0	0	0	4
記載無	0	0	0	1	1	2



6 この行事に参加した感想

	達古武 ヒシ刈り	茅沼 見学会	幌呂 見学会	久著呂 見学会	市民 講座	計
とても満足	16	7	3	3	11	40
満足	2	1	11	3	0	17
どちらでも ない	0	0	0	0	0	0
やや不満	0	0	0	0	0	0
不満	0	0	0	0	0	0
記載無	0	0	0	1	0	1



■達古武ヒシ刈り

- ・ヒシのことを楽しく学べた。カヌーも楽しかった
- ・守らなければいけない植物がよくわかった
- ・雨の中でも楽しめた
- ・カヌーに乗るのも楽しいし、雨の中でもとても楽しかった
- ・カヌーに乗ることも楽しかった。環境対策に関わるイベントに参加できて良かった

- ・大好きなカヌー、初めてのヒシ刈り、とても楽しかった。雨なんて全然気にならなかった
- ・雨もまったく気にならなかった。刈りとった所がはっきりわかったので
- ・湖がおだやかでこぎやすく、思っていたより手伝う事が出来た
- ・カヌーにも乗れてボランティアもできて充実した。クイズも楽しかった
- ・達古武の環境について知りカヌーも楽しくのる事ができて良かった。クイズ大会も楽しかった
- ・コロナであまり体を動かす機会がない中、レジャーをできて楽しかった
- ・スタッフの方参加した方みなさんがとても優しく楽しくヒシ狩りを行うことが出来た
- ・カヌーに乗れたこと、ヒシを刈るのが楽しい
- ・一人での参加だったが楽しかった。雨の中でのカヌーだったが、たくさんヒシがとれた
- ・初めてのカヌーはとても楽しく、色々な人と交流もでき、クイズも盛り上がり、雨が気にならないくらいだった
- ・色々な地域から来た方と知り合えた
- ・カヌー体験

■茅沼見学会

- ・初めてEボートに乗れた。ヤマセミも見れた
- ・Eボートでの川下り
- ・個人や民間業者の案内では得られない学術的な話がきけたこと
- ・あいにくの雨ふりでしたが途中降舟したおり色々な説明をしていただき納得した
- ・説明がわかりやすく良かった
- ・大自然のなかでの体験に感動
- ・静かな川の流れ。川底も見えた
- ・説明があってよくわかった
- ・親切で丁寧な指導
- ・ふだん知り得ないことを多く学べた。専門家の話がとても楽しく勉強になった
- ・説明がしっかりされているのでわかりやすい
- ・新しい体験（皮はぎ）が出来た
- ・今までにない体験が出来た

■幌呂見学会

- ・体験学習が良い
- ・再生を経験出来て良かった。スコープなどの道具を充実した方がよいと思う
- ・丁寧に説明してくれる
- ・毎年再生した場所を見られるのがとても良い
- ・小さな作業が将来につながることを思うと感慨深い

■久著呂見学会

- ・説明が詳しく分かり易い
- ・川の中を見る事が出来た
- ・自然再生の取り組みを知る事が出来た
- ・実際に現地に行くことで土砂対策を理解出来た

■市民講座

- ・普段は入れないところに入ることができて、感動しました
- ・第1回で予習して、第2回で湿原を歩き、第3回で復習したことにより、理解を深めることができました。最高に楽しかった！
- ・あらためて自然はすばらしい！！と思った。何も知らなかったなので、とても勉強になりました。もっともっと知りたい、学びたいです。標茶に転勤になってよかった！（4月に転勤してきました。） ※ヤチマナコでは重い体を支えていただき、ありがとうございました
- ・実際に湿原の中を歩く体験は貴重でした
- ・普段は入れない湿原の場所を案内していただいて、本当にありがとうございました。釧路湿原の詳しいこ

とを知らなかったので良い機会になりました。ラムサール条約のことなど娘に伝えたい

- ・湿原の自然について、体験できたことは今後の人生に大きな影響を及ぼすと感じました。実体験を通した活動ができてとても良かったです
- ・地元出身ながら、初体験ばかりで感動しました。ラムサール条約の成り立ちから現在の課題まで、大変勉強になりました
- ・普段人が足を入れない湿原に行くことができ、本当に貴重な経験ができたので。まったく知らなかった知識をたくさん得られた
- ・今まで知らなかったことをたくさん知れた。湿原の中もガイドがすばらしかったので、とても良く理解できましたと思います！！
- ・釧路地方にきて16年以上経ち、初めて湿原のことを学ぶことができました。体験も通して色々知ることが大切だと思いました。これからの生活に何かしら影響があるだろう講座になったと思います（市民講座）
- ・実際に湿原の中にはいることができたこと

7 この行事のなかで最も印象が深かったこと

■達古武ヒシ刈り

- ・全部
- ・カヌー、ゲームとても楽しかった
- ・司会の方が楽しかった。ボランティアの方も一生懸命だったのが印象に残った
- ・カヌーと絵しりとり
- ・楽しく学びながらボランティアにもなるところが良かった
- ・大雨の中カヌーに乗ったこと
- ・カヌーを漕いでいてパドルにヒシがからまり漕ぎづらいこと
- ・雨の中でのカヌーだったがたくさんヒシがとれた。ヒシ刈りが終わる頃に雨がやんだ
- ・ヒシの根がとても長いという事にびっくりした
- ・小雨降る中でも実施できた事が喜ばしい
- ・ヒシの実が痛い！
- ・水草が多いところでのカヌーを漕ぐことが難しいこと
- ・天気が悪く寒かったが、実施出来た事が良かった
- ・こんなにたくさんヒシが生えているとは思わなかった
- ・クイズ
- ・伝言ゲーム

■茅沼見学会

- ・「E ボートでの川下り」&「色々な植物の存在を知ったこと」
- ・丹頂鶴やエゾシカを自然の中で見られたこと
- ・ボートからの眺めも良かった
- ・全てが新発見。良い学習だった。ありがとうございました
- ・ヨシ原の再生
- ・カヌーに乗ったこと

■幌呂見学会

- ・ヨシの根が空洞だった。ハンノキの環状剥皮が大変だった。切った方が簡単なのに、色々なことを考えてやっているのだなと思った
- ・個人では湿原の中へ入る機会が少ないから
- ・ハンノキの皮はぎ
- ・去年ヨシを植えたところが元気に育っていた。ヨシの根が長く伸び、何本もつながっていた
- ・ヨシの移植も少しずつ再生されているのが見れて、環状剥皮も徐々に結果が見れて良かった
- ・ハンノキを削るのが、大変だった。男の人の力が必要と思った
- ・ヤチハンノキの皮をはぐこと。そして、徐々に枯れること

- ・ハンの木の制御方法を知った事が良かった
- ・人が手を入れたところを少しずつ再生するのは素晴らしいですね。ヨシもハンノキもうまくいくといいですね
- ・ハンノキが環状剥皮により、2～3年で枯れること
- ・植物（湿原）の再生の様子、乾燥地化、水を引き込む等、地味な作業ではあるが将来に湿原を残す、湿原を保護していく〇〇に改めて勉強になった。ヨシの根が意外に浅いことに驚き！「巻き枯らし」という言葉を初めて知り興味津々。1, 2, 3年後の木の様子が確認できればと思う
- ・ヨシがフィルタの役割をはたし、農地からの水をきれいにし、湿原に流入するという。泥炭を手作業で掘ったこと。なかなかできない体験だった

■久著呂見学会

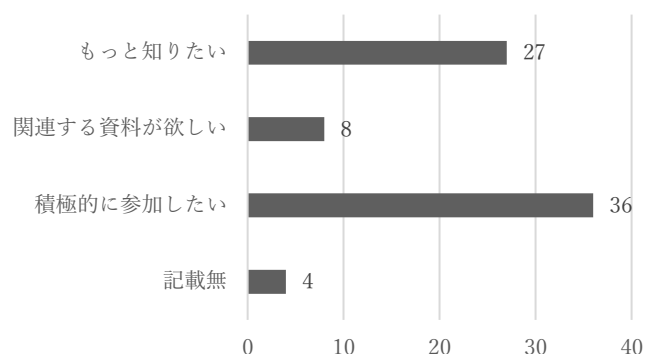
- ・水生生物調査は楽しく、生態系の仕組みを知ることが出来た
- ・川の中での活動
- ・魚類見学
- ・アメマスやヤマメなどの魚がとてもきれいだった
- ・土砂対策等の再生事業自体が印象に残った。このようなツアーに参加しなければ知るきっかけが無かったため

■市民講座

- ・ラムサール条約。浄化。自然はかわる
- ・第2回のフィールドワーク
- ・2回目のフィールドワーク最高でした
- ・2回目の講座でしたが、講義内容も大変参考になりました、ありがとうございます。ぜひ次回は、抽選でドキドキしない皆が受けられる人数だと嬉しいです
- ・やちまなこを近くで見れたことです
- ・ラムサール条約そのものについて知ることができたこと。フィールドワークで実際に湿原を感じられたこと。新庄先生による丁寧な説明
- ・実際に湿原に入り、体験したこと
- ・フィールドワーク。足が川底の泥にはまって全くぬけなくて本当に恐怖を感じた
- ・本物の湿原の中に入れたこと。湿原保護の歴史を知れたこと。とても分かりやすかった
- ・湿原のふわふわ感は忘れません
- ・新庄さんを知ったこと

8 再生事業について関心があるか（複数回答）

	達古武 ヒシ刈り	茅沼 見学会	幌呂 見学会	久著呂 見学会	市民 講座	計
もっと知りたい	11	4	3	0	9	27
関連する資料が欲しい	3	0	2	0	3	8
積極的に参加したい	12	4	11	6	3	36
それほど関心はない	0	0	0	0	0	0
記載無	0	2	1	1	0	4



湿原の保全や再生に係る情報発信の拡充について

1. 地域の図書館や博物館における資料の整備について

釧路市中央図書館担当者との打ち合わせを踏まえ、以下の内容で資料整備を進める。

《収蔵方法について》

・収蔵部数

3部（内訳：書庫保管用、閲覧用、貸出用）

・図書館への情報提供

原則は図書館にて定めた情報がデータベースに登録されるが、資料提供者が希望する分類やキーワード等（※）を検索ワードとして登録することも可能なため、オフィスで統一したワードを情報提供する。

※）自然再生、小委員会名、事業地名等

・会議資料等の収蔵

会議資料やニュースレター等については、図書館職員により小委員会毎にファイリングし閲覧コーナーに配架することが可能。

・収蔵方法

3月中を目途に再生普及行動計画オフィスにて既存資料を取りまとめて図書館に持ち込む。今後、随時発行される資料については、発行後オフィスにて随時図書館に持ち込む。

《対象とする資料》

2月下旬を目途に各事務局において用意いただき、オフィスに提供をお願いしたい。

・各事業地実施計画書（最新版） 2部

・各小委員会発行ニュースレター（No. 1～最新号まで） 3部

・自然再生事業および釧路湿原、流域河川に係るパンフレット、リーフレット等 3部

・小委員会配布資料 3部（今後開催されるもの）

※これまでの小委員会配布資料については、モノクロ版をオフィスにて増刷しとりまとめを行う。

《資料収蔵の周知》

一定の資料整備を進めた後、図書館と共催で館内での企画展を調整するとともに、各小委員会主催行事、発行物等において周知用の共通ロゴを掲載するなどして、周知を進める。

2. 写真データの事務局共有の仕組みづくり

以下の写真データをオフィスにて取りまとめ、分類、クレジットの付け方、使用方法について検討、調整を進める。写真データは、最終的にはDVD等により各事務局へ共有する。

《対象とする写真データ》

3月下旬を目途に各事務局において用意いただきオフィスに提供をお願いしたい。

- ・公開が可能なデータ
- ・小委員会配布資料で使用了写真を中心に、以下に該当するもの
 - 環境変化が読み取れるもの：過去と近年の様子を対比することが可能な定点写真等
 - 湿原の生態系サービスを伝えるもの：涵養機能等
 - 自然再生事業の取組みを把握できるもの：事業地写真、モニタリングの様子等

3. 各小委員会発行ニュースレターを活用した情報発信について

再生普及小委員会事務局において、より効果的な情報発信となるような内容の検討及びターゲットの整理を進めており、同ニュースレターを例に議論を行っていく。